

救急・集中治療領域における薬剤師による定期処方支援プロトコルの有用性の検討

1. 研究の対象

2021年1月から6月、2021年8月から2022年1月までに5山病棟、ICU、HCU、救命救急ICUの救命診療科に入院された患者様

2. 研究目的・方法

救命救急センターでは薬剤師が医師と協働して患者様の薬物治療の適正化を行なっています。その中の一つとして内服・外用薬の定期処方に関して薬剤師が処方支援を行なっています。今回、処方支援内容の解析を行うことで救急・集中治療領域での薬剤師の処方支援の有用性を明らかにすることを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録などから処方された薬剤や薬剤師が介入した内容や薬剤の種類など

4. 外部への試料・情報の提供

該当しません

5. 研究組織

りんくう総合医療センター
薬剤科 小林 洋平

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪府泉佐野市りんくう往来北 2 番地の 23 りんくう総合医療センター

TEL:072-469-3111

研究責任者 薬剤科 小林 洋平

研究代表者：りんくう総合医療センター 薬剤科 小林 洋平